

研究と現場の対話



研究からの視点

現場からの視点

参加者
募集



第8回 東北野生動物管理 研究交流会

in 福島

日時 2025.12.13. [土]

交流会 10:00-16:45
懇親会 18:00-20:00

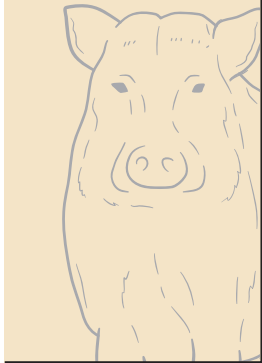
会場 コラッセふくしま 4階 多目的ホール

申込締切

12月1日 [月]

[主催] 山形大学農山村リジェネレーション共創研究センター [共催] (同) 東北野生動物保護管理センター / (株) BOULDER / 雪国野生動物研究会
[後援] 「野生生物と社会」学会

開催趣旨



野生動物によってもたらされる産業・生活基盤への影響は、深刻な社会問題として広く議論されるようになりました。これら問題の主因として、野生動物の個体数の増加と同時に、農村や、その周辺域における急速な人口減少が考えられます。そのため、人口減少率が高い東北において、縮小社会に適応した新たな野生動物管理システムの構築が今まさに求められています。この研究交流会では、東北各地の昨今の取り組み事例から課題を共有・整理し、問題解決に向けた産官学の役割について議論していきます。

今年度の交流会は2部で構成されます。第1部では、野生動物管理にかかわる「研究と現場とのギャップ」に焦点を当てます。これまで交流会では、農林業被害や生活被害、さらには生態系への影響など、野生動物由来の新たな問題について幅広く解説すると同時に、それらへの対応について「科学」の視点でご紹介してきました。一方で、こうした科学の進展とは裏腹に、それらを実社会に適応できない、という指摘も多く頂いてきました。そこで、今年度は、研究・技術開発と、それらを利用する現場との間にあるギャップを直視することで、それをどのように埋められるかについて議論していきたいと思います。第2部では、野生動物の生態や管理に関わる研究や事業の紹介を通して、情報の発信と共有を促進することを目的とした恒例のポスターセッションを開催します。

9:30

10:00-10:10

10:10-11:40

開 場

開会・挨拶・趣旨説明

第1部 前編

研究と現場とのギャップ | 現場からの視点

「行政の視点から考える研究成果の社会実装におけるハードル」

千本木 洋介 株式会社BOULDER

「地域ぐるみの鳥獣対策の成功とは？現場と科学のせめぎ合い」

江成 はるか 雪国野生動物研究会／山形大学農学部

「いわずみ獣害カレンダー～岩手県岩泉町と岩泉猟友会の取り組み紹介～」

三上 亜希子 岩泉猟友会／岩手県岩泉町

第2部

ポスター発表 | 野生動物に関する事例紹介

第1部 後編

研究と現場とのギャップ | 研究からの視点

「野生動物警報システムと展開事例について」

齋藤 寛 会津大学

「福島県で行った人畜共通感染症の調査について」

壁谷 昌彦 福島県野生生物共生センター

「野生動物管理政策はなぜ上手くいかないのか？どうすればうまくいくか？」

政治学・行政学から考える野生動物管理」

古賀 達也 国立研究開発法人 森林総合研究所

16:30-16:45

18:00-20:00

総括と閉会

懇親会（事前申込者のみ）

ポスター発表者
募集中
(先着50件)

お申込み・お問合せ先

研究交流会実行委員会

URL <https://four-m.jp/tykk2025/>

申込締切 2025年12月1日(月)(定員:200名)

参 加 費 交流会参加: 無料

懇親会参加: 会費 一般6,000円 学生3,000円(先着70名)

会費振込先 ゆうちょ銀行普通預金

店番 858 口座番号 2335465

口座名義人 エナリハルカ

※当日参加は受け付けておりませんので、ご注意ください。



交流会・懇親会会場

コラッセふくしま 4階 多目的ホール

住 所 福島県福島市三南町1-20

交 通 電車: JR福島駅 西口より徒歩3分

自動車: 東北自動車道 福島西IC、飯坂ICから約15分

駐車場 コラッセふくしまおよび近隣の有料駐車場を利用可

交流会に参加する学生の支援を目的に、企業の皆様からの協賛金(1口1万円)を受け付けています。ご協力いただける場合は、交流会実行委員まで、事前にご連絡下さい。